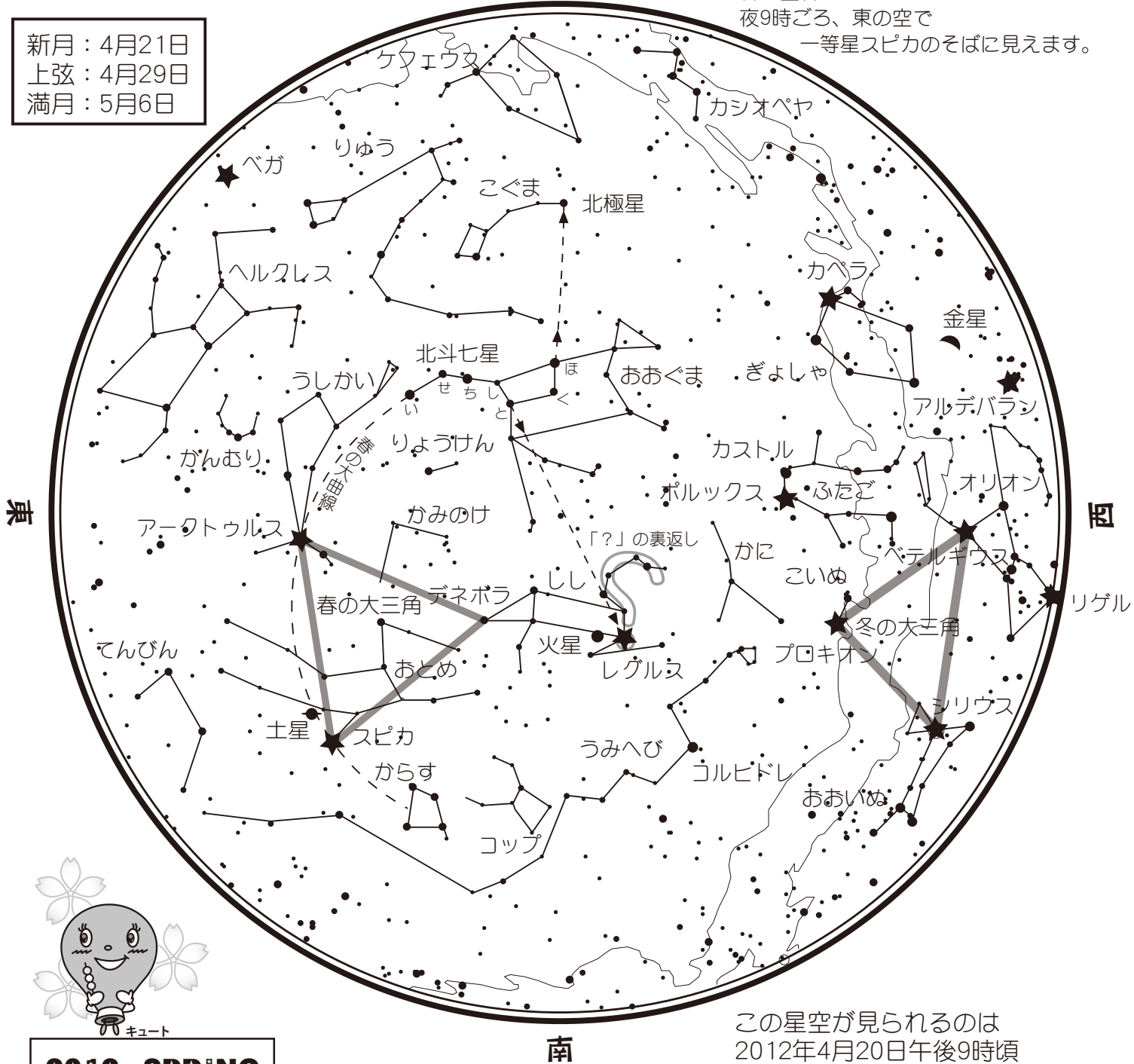


# ★ 姫路で見る4月後半の星空 ★

図の中心が頭の真上(天頂)、まわりの円が地平線です。  
この星図を見るときには見ている方向の方位を下にしてください。  
★は一等星を表しています。  
月はかいていません。

★金星★4月30日に最大光度! (-4.5等)  
夕方、西の空で一番明るく見えます。  
★火星★  
夜9時ごろ、南の空で赤っぽく見えます。  
★土星★  
夜9時ごろ、東の空で  
一等星スピカのそばに見えます。

新月: 4月21日  
上弦: 4月29日  
満月: 5月6日



2012 SPRING

この星空が見られるのは  
2012年4月20日午後9時頃  
2012年5月5日午後8時頃です。

春の夜空では7つの星がひしゃくの形に並んだ「北斗七星」が、星座の場所を教えてくださいます。  
北斗七星はおおぐま座のしっぽの星で、ひしゃくの器の「く」と「ほ」の星を結んで北側にのばすと、北極星が見つかります。一方、「し」と「と」の星を結んで南側にのばすと一等星レグルスが見つかります。そこから「？」の裏返しや二等星デネボラを目じるしに、しし座の形をたどってみましょう。  
今度はひしゃくの柄の部分、カーブにそって延ばしていくと「春の大曲線」ができあがります。2つの一等星、うしかい座のアークトゥルスとおとめ座のスピカを探す目じるしです。春の大曲線の終点はからす座です。4つの星が四角に並ぶ姿はかわいらしく、以外と目立ちます。からす座の南側には、全天で一番の大きさを誇るうみへび座が横たわっています。暗い星が多く全身をたどるのは難しいですが、二等星コルヒドレは探してみてくださいね。  
西の空には冬の星座が残っています。冬の大三角や一等星を目じるしすると見つけやすいですよ。